

福島県裏磐梯のコカナダモ分布拡大

星 一 彰
(福島東高校)

福島県のコカナダモは、最初に尾瀬沼で発見されたが、⁽¹⁾1988年8月以来裏磐梯でも確認されている。裏磐梯の休耕田利用のジュンサイ栽培地で最初に確認され、しだいに分布を拡大しつつある。耕地整理をして新たにジュンサイ栽培地とした場所にも拡大しつつある。

栽培農家では年何回か窒素質肥料として特に硫酸を多量に施肥している。茎葉を繁茂させることが生産を増大させる最短距離のため、特に窒素質肥料を多く使用するのが特徴となっている。コカナダモとヒツジグサは、いわば雑草ということで、これも年何回か除草によって駆除されている。このような管理により、ジュンサイの生産をある程度確保している現状である。

裏磐梯には現在約300余の湖沼が存在する。これらの自然の湖沼への分布拡大はどのようにになっているのだろうか。

最初に分布が確認できたのは乙女沼であった。⁽²⁾この沼はジュンサイ栽培地から約2 km離れた場所であり、近接する場所にも大小さまざまな湖沼が存在するが、特にこの沼で最初に分布拡大が確認できた。

乙女沼には従来からヒシ類が多く分布しており、付近には大きな旅館があり、さらにキャンプ場も接近している。すなわち人為的影響が比較的大きい沼ということがわかる。ヒシ類が多く分布していることから、他の多くの湖沼群に比し、沼の富栄養化が進行していると判断す

ることも可能である。現在、ヒシ類が駆逐されつつある。

隣接する姫沼などは人為的影響が全く考えられず、従来からの水生植物ヒツジグサ、ジュンサイなどが繁茂している。

次に分布が確認されたのが、乙女沼から小野川湖に流れる川に沿ってである。切れ藻が増水のたびに流れ出し、小野川湖にも入っている可能性がある。

川に沿っては、クロモが多く、特に増水のたびに水が入る小さな池を調査してみると、従来からのクロモの中にコカナダモの切れ藻が入り込み、しばらく共存状態が継続されていたが、1988年10月現在では、コカナダモの増殖が見られず、むしろクロモの増殖が見られる。この事実は、人為的影響のない自然の湖沼では、コカナダモの切れ藻が運ばれても、増殖することができず、従来からの水生植物が繁茂増殖する可能性を示唆している。

最下流の小野川湖にはライギョなどの帰化動物が繁殖しており、その生態系の破壊など考えられるが、現在のところコカナダモの増殖は認められない。なお、この小野川湖には小野川の水が大量に流れ込んでいるが、小野川の水は生物学的水質調査により、極めて清冽と判定されている(1988年8月 星調査)。

その他、裏磐梯全体の湖沼群で、特に人為的影響の大きいと思われる住宅近くの湖沼で、2~3コカナダモの分布拡大が観察されている。

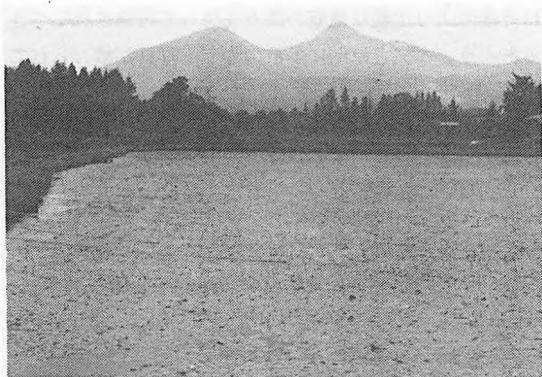


写真1. 裏磐梯休耕田利用ジュンサイ栽培地



写真2. 耕地整理による新栽培地に分布拡大

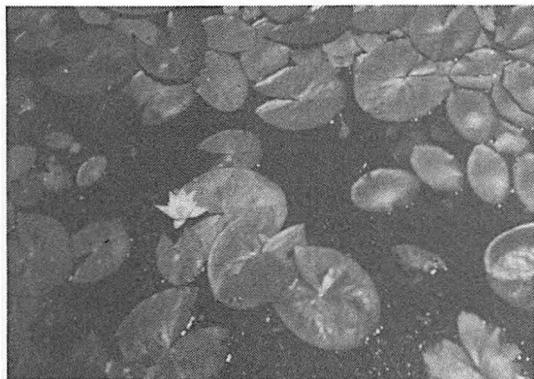


写真3. ジュンサイ栽培地。ヒツジグサとココナダモが繁茂している。



写真4. 乙女沼

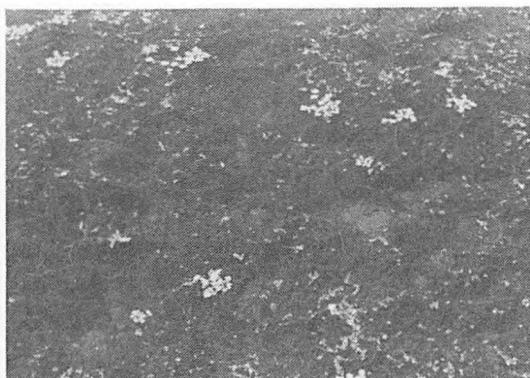


写真5. 乙女沼のココナダモ。水表面はヒシ類



写真6. クロモとココナダモ共存からクロモ優占が観察された池。

現在、裏磐梯地方はリゾート開発指定地の核的な場所として注目され、観光開発が急ピッチで進行中である。その水質汚濁の進行に伴ってココナダモの分布が拡大されることが予想される。

参考文献

- (1) 星 一彰、1982. 3. 尾瀬沼にココナダモ侵入. 水草研究会報 No 7.
- (2) 星 一彰、1989. 福島県裏磐梯のココナダモについて. 日本生態学会東北地区会報 48. (投稿中)

<抄録> G. Wiegleb "Notes on Japanese Ranunculus subgenus *Batrachium*. Acta Phytotax. Geobot. 39 : 117-132, 1988.

日本産バイカモ類の分類学的再検討を行なったもの。従来、バイカモとされていた植物は、異質な変異型を含むとして、バイカモ (狭義)、エチゴバイカモ、ヒルゼンバイカモの3変種に分類した。また浮葉をつくるイチョウバイカモ、オオイチョウバイカモ、ミシマバイカモはまとめてイチョウバイカモとした。その他に、北海道東部

に産する大形のバイカモを、新種オオバイカモとして報告した。

この研究は、日本産バイカモ類の分類に多くの問題が残されていることを指摘した点で、貴重な一石を投じたものと言えるが、その結論については、再検討すべき点が多々あるというのが、私の率直な感想である。

なお、本論文の別刷を預っていますので、御入用の方は切手175円同封の上、神戸大学教養部 角野康郎宛に連絡下さい。(角野)